

京都市について

人口:約147万人 面積:827.9 km²



嵐山の渡月橋



祇園祭の山鉾の巡行



清水寺の紅葉



京都市成長産業創造センター

科学分野における先端技術を事業化に結びつける研究開発拠点

環境共生と低炭素のまち・京都

温室効果ガスの削減目標

2020年度 25%削減 (1990年度比)

2030年度 40%削減 (1990年度比)

京都市が実現を目指す6つの社会像

- 社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち
- 社会像2 森を再生し、「木の文化」を大切にするまち
- 社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち
- 社会像4 環境にやさしいライフスタイル
- 社会像5 環境にやさしい経済活動
- 社会像6 ごみの減量

ひとと公共交通を優先する「歩いて楽しいまち・京都戦略」

自動車交通の制限を含めた抑制策等を通じてクルマを重視したまちと暮らしを、「歩く」ことを中心としたまちの暮らしに転換し、まちの賑わいを生み出す都市であり続けることを目指している。

四条通の歩道拡幅、市内への自動車流入抑制のためのパークアンドライドの推進、公共交通機関の利用を促し、ライフスタイルの転換を図るモビリティマネジメントの推進などのプロジェクトを進めている。

四条通の歩道拡幅

人口100万人都市のメインストリートの人と公共交通優先の道路にする全国初の取組

- 既存の道路空間を再配分することで、誰もが快適に歩くことができる歩行空間の確保とバス待ち環境の改善。
- 四条通を交通結節点(ターミナル)と捉え、路線バスが走行しやすい環境やバス利用者が利用しやすい環境を整備し、公共交通の利便性を高めることで、まちなかへのアクセス機能を向上。



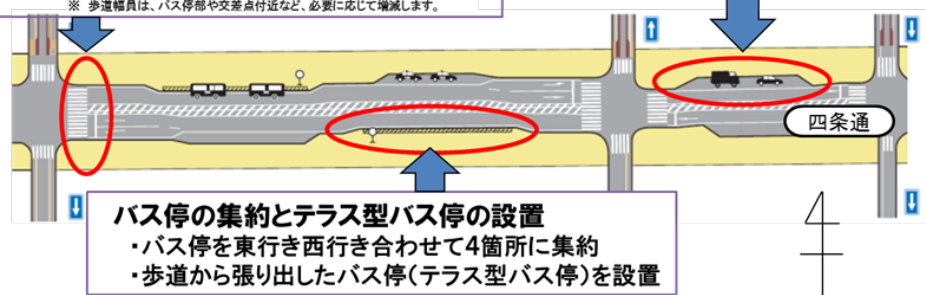
四条通歩道拡幅事業の整備概要

歩道の拡幅 ・歩道:最大2倍に ・車線:4→2へ

沿道アクセススペース(停車スペース)の設置
・人の乗降, 5分以内の荷物の積卸のためのスペースを15箇所(32台分)設置
※タクシーの乗降についても可能



※ 歩道幅員は、バス停部や交差点付近など、必要に応じて増減します。



バス停の集約とテラス型バス停の設置
・バス停を東行き西行き合わせて4箇所を集約
・歩道から張り出したバス停(テラス型バス停)を設置

各学会賞の受賞

- ・国際交通安全学会賞 (業績部門)
- ・日本都市計画学会賞 (石川奨励賞)
- ・土木学会賞(技術賞)

